

Press Release



2018年11月27日
トランスコスモス株式会社

トランスコスモス、JR 東日本が実施する「案内 AI みんなで育てようプロジェクト」に参画

池袋駅にコミュニケーションロボット「ロボホン」を設置し、利用者からのお問い合わせに対応

トランスコスモス株式会社(本社:東京都渋谷区、代表取締役社長兼 COO:奥田昌孝)は、東日本旅客鉄道株式会社(本社:東京都渋谷区、代表取締役社長:深澤祐二、以下、JR 東日本)が実施する「案内 AI みんなで育てようプロジェクト」に参画します。



JR 東日本グループが実施する「案内 AI みんなで育てようプロジェクト」は、駅構内等で利用者からの問い合わせに対応する案内 AI(人工知能)システムの共同実証実験です。JRE ロボティクスステーション有限責任事業組合(LLP)を主幹事として、JR 東日本グループ 15 社、メーカー等 18 社の企業と共同で行います。利用者からのさまざまな質問に対応することで案内 AI システムを育てていき、適切に対応できるスマートな案内 AI の構築を目指すものです。

トランスコスモスはシャープ株式会社とともに「案内 AI みんなで育てようプロジェクト」に参画し、Oracle Service Cloud を活用した「ロボティクスマーケティング for ロボホン powered by Oracle Service Cloud」を提供します。Oracle Service Cloud へ実装した FAQ を軸に小型ロボット「ロボホン」がガイドをしながら利用者を解決へと導きます。歌って踊るフレンドリーさとタブレットを活用したストレスフリーなコミュニケーションを実現しました。今回のプロジェクトでは池袋駅構内に「ロボホン」を 4 体設置し、利用者からのお問い合わせに対応します。

■「案内 AI みんなで育てようプロジェクト」概要

山手線内の複数エリアにおいて、駅(無人改札※一部時間帯のものを含む、コンコース等)および商業施設(エキナカおよびホテル等)に案内ロボット、デジタルサイネージの設置、案内チャットボットの設定を行い「駅構内案内」「駅周辺案内」「お土産案内」などを行います。どのようなコミュニケーション機器が、利用者にとってご利用しやすいかの検証を行います。なお、この実証実験は「モビリティ変革コンソーシアム」の実証実験のひとつです。

- ・実施期間:2018年12月7日~2019年3月15日
- ・実施箇所:東京駅、上野駅、新宿駅、品川駅、池袋駅、浜松町駅

トランスコスモスが提供する「ロボティクスマーケティング」は、ロボットを通じて得られるオフラインでの接客データを蓄積・活用し、その他顧客チャネルへの対応で活用することを可能にするサービスです。また、人工知能(AI)によるデータ収集、予測をはじめ、各種 API、DMP、トランスコスモスの各種サービスと連携し、お客様企業のマーケティング活動を総合的に支援します。

【参考】ロボホンとは

シャープ株式会社が開発した「モバイル型コミュニケーションロボット」です。二足歩行が可能なヒューマノイドロボットとしては小型のサイズ(身長約 19.5cm)を実現し、外出先への持ち運びも可能です。

※トランスコスモスは、トランスコスモス株式会社の日本及びその他の国における登録商標または商標です

※Oracle と Java は、Oracle Corporation 及びその子会社、関連会社の米国及びその他の国における登録商標です。

文中の社名、商品名等は各社の商標または登録商標である場合があります。

※その他、記載されている会社名、製品・サービス名は、各社の登録商標または商標です

(トランスコスモス株式会社について)

トランスコスモスは 1966 年の創業以来、優れた「人」と最新の「技術力」を融合し、より価値の高いサービスを提供することで、お客様企業の競争力強化に努めて参りました。現在では、お客様企業のビジネスプロセスをコスト最適化と売上拡大の両面から支援するサービスを、アジアを中心に世界 31 カ国・172 の拠点で、オペレーショナル・エクセレンスを追求し、提供しています。また、世界規模での EC 市場の拡大にあわせ、お客様企業の優良な商品・サービスを世界 49 カ国の消費者にお届けするグローバル EC ワンストップサービスを提供しています。トランスコスモスは事業環境の変化に対応し、デジタル技術の活用でお客様企業の変革を支援する「Global Digital Transformation Partner」を目指しています。(URL: <https://www.trans-cosmos.co.jp>)